

## 令和2年度（生田高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	職員行動指針の周知・徹底により、公務員として絶対に不祥事を起こさないという法令遵守の意識の向上に努める。	1月に実施した事故不祥事防止会議にて、服務規律の遵守について、教育公務員としての高い倫理意識の重要性を確認し、不祥事を起こさず、信頼を損なわないよう法令遵守の意識向上を図った。
職場のハラスメントの防止	人権意識を向上し、他者の思いに気づき、良好な職員間の人間関係の構築に努める。	7月に実施した事故不祥事防止会議を、パワーハラスメントの防止をテーマとして行い、互いに注意喚起し合える風通しの良い職場環境づくりを心がけ、「互いを尊重する気持ち」や「思いやり」がハラスメント防止につながることを再確認した。
わいせつ・セクハラ行為の防止	日々の言動に留意し、セクハラ・わいせつに係る事故・不祥事の根絶を目指す。	5月に実施した事故不祥事防止会議にて、セクハラの原因や事例について、どのような場面でセクハラは起きるのか点検した。部活動中や日頃の言動について再点検し、振り返りを行うことで、事故の未然防止を図った。
体罰、不適切な指導の防止	体罰は子どもの人権を損ない、子どもとの信頼関係を根底から覆すものであるという意識を職場全体がもち、未然防止に向け職員間で互いに相談しあえる風通しの良い職場づくりを進める。	8月に実施した事故不祥事防止会議を、体罰と不適切な指導の防止をテーマとして行い、点検表を元に授業中や部活動中等、様々な場面の事例について確認し、日頃の言動や指導について振り返りを行い自己点検するとともに、不適切な指導の発見のため職員間で情報共有する必要性を確認し、未然防止を図った。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る適切かつ効率的な作業・点検体制を整え、事故の未然防止に職員一人ひとりが自覚を持って取り組む。	12月に実施した事故不祥事防止会議にて、入学者選抜に係る事故防止について過去の事例による注意点等を確認した。また、選抜業務のマニュアル等を読み合わせて、作業手順を確認し、適切な業務遂行を行うことができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	文書等の適正な管理を徹底し、個人情報の不適切な取扱いや流失等の未然防止を徹底する。	9月に実施した事故不祥事防止会議にて、個人情報の適切な取り扱いと情報セキュリティについて点検表を元に確認し、併せて情報セキュリティに関する監査も実施し、点検確認を行うことで、事故の未然防止を徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールや交通マナーの遵守に務め、交通事故の未然防止に努める。	12月に実施した事故不祥事防止会議にて、飲酒運転の根絶をテーマに、点検表を元に日頃の行動を確認し、年末年始の飲酒の機会が増える前に再点検を実施し、意識啓発を図った。

業務執行体制の確保等	不祥事防止研修等を通して、職員の意識向上とモラルの維持を図り、組織として事故・不祥事の未然防止に努める。	4月及び10月に実施した事故不祥事防止会議にて、行政文書の扱いや物品の適正な管理について研修を行い、業務の進行管理や業務の見える化を意識し事故の未然防止に努め、引き続き改善を進めることを確認した。
会計事務等の適正執行	私費会計基準に則った適正かつ迅速な会計処理を行い、会計事務に係る事故の未然防止に努める。	私費会計伝票の作成や領収書の管理、銀行口座の確認等、定期的な会計出納簿のチェックを実施し、事故防止に努めた。併せてPTAによる会計監査を複数回実施し、適正な会計処理について確認することができた。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料を元に事故不祥事防止会議を全職員で毎月定期的実施した。また、綱紀保持に関する通知を職員に周知し、事故不祥事を起こさないよう、日頃から職員に意識啓発を行った。

次年度は学校全体として組織的に事故防止に取り組む、職員間で十分な意思疎通や情報共有ができるよう風通しの良い職場環境の改善を図りながら、事故不祥事の発見と取組の改善に努めていく。